

2025年度



草の根育成助成第11回報告交流会

共育ステーション地球の家

子どもクッキング館。子ども工作館

子どもサイエンス館

2026年5月9日



団体概要



団体名

共育ステーション地球の家（代表：熊谷 亜希子）

所在地

千葉県松戸市常盤平5丁目（事務局）

活動エリア

千葉県松戸市、東京都葛飾区、オンライン

受

2013年4月20日

「事業内容」

不登園 不登校 ホームエデュケーション等の子ども及びその家族を対象とした居場所及び学びの場の運営など

H P

「年間予算」

約445万円(2025年度)



VISION・MISSION



団体ビジョン（目指している社会）
すべての子どもと親が、安心して育ち合い学び合い、自分らしく生きることができる社会

- 団体ミッション（使命）
「学びの多様性」を社会に発信するとともに、4つの「共育」を実践します。
- 【1】子どもも大人も共に育ち合う
 - 【2】異年齢の子どもたちが共に育ち合う
 - 【3】インクルーシブ教育（健常児 障がい児ミックス）
 - 【4】一人ではなく、みんなと共に育てる

団体全体事業



1. 不登園 不登校 ホームエ
デュケーション等の子ども及
びその家族を対象とした居
場所及び学びの場の運営
(葛飾区、松戸市、オンライン)

2. 宿泊自然体験活動

3. 保護者及び関係者を対象と
した相談、学習会、交流会の
企画及び運営



社会課題と助成事業



課題： 学校が合わない子どもたちの「体験と交流の機会」の減少

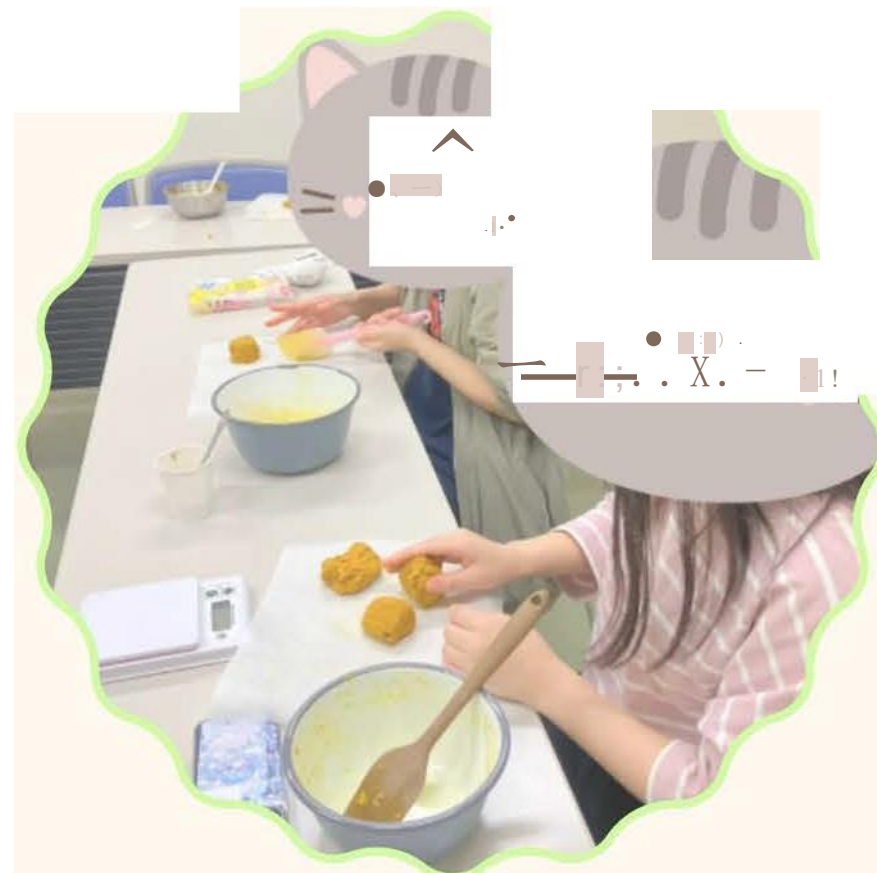
不登園 不登校 ホームエデュケーションの子どもが平日の昼間にいられる場所が、自宅や図書館以外はほとんどありません。

そのため、外出 体験の機会や、同世代の子どもたちとの交流の機会がとても少なくなっています。

助成事業： 平日昼間に集まれる第3の居場所づくりを行うことで、多様な学びの場を求める子ども同士が交流できる機会を提供します。



助成事業の紹介



子ども
クッキング館



子ども
工作館



子ども
サイエンス館



助成事業の紹介

事業名

子どもクッキング館 エ作館 サイエンス館

実施会場

東京都葛飾区 いいづか集い交流館

期間 回数

2025年4月8日から2026年3月24日 合計35回

対象

幼児 小学生 中学生

事業内容

- ①クッキング館：おやつづくりのプログラムを実施。
- ②エ作館：モノづくりのプログラムの実施。
- ③サイエンス館：実験やサイエンスものづくりプログラムの実施。

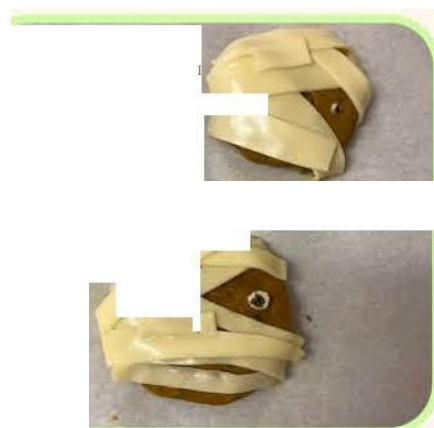
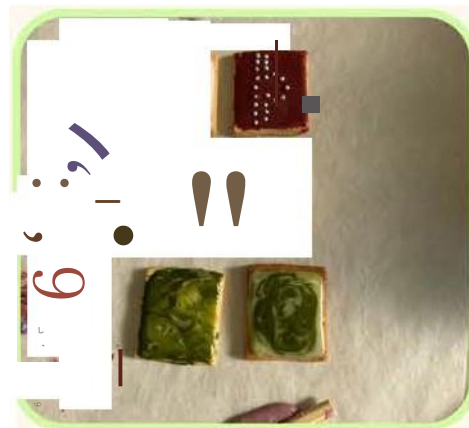
事業予算

1,464,000円（助成金額255,000円）



事業の様子

クッキング



工作



サイエンス



事業の成果

延べ306名の子どもが参加

0子どもたちは、クッキング エ作 サイエンスの各回プログラムを通して、お互いの性格や考え方の違いに触れながら他者への理解を深めることができました。

0発達凸凹のお子さん グレーゾーンのお子さんの参加もあり、それぞれの存在 交流を通してインクルーシブ教育も行うことができました。

0参加者の保護者様からも「活動への参加を毎回楽しみにしている。」「お家で活動中のことを楽しそうに話してくれる。」というご感想も頂き、それぞれの子どもたちにとって安心安全な居場所 ができた。



今後の展望と新たな課題



今後の展望：2026年度は、活動回数を週2回から週3回に増やし、不登園 不登校 ホームエデュケーションの子どもたちの体験と交流の機会拡大を図ります。

新たな課題：活動を通して認知度が広がってきているが、まだ十分ではないので引き続き広報活動を行っていく必要があります。

また発達凸凹 発達グレーゾーンの子どもの参加も多いので、専門家による研修に参加したり、相談できる体制を整えていく必要があります。



.....



ありがとうございました

あそび交流支援をしてくださる
ボランティアスタッフさん

随時募集中です



共育ステーション地球の家

